

第6章 地域公共交通確保維持事業

1. 概要

人々の生活を支える公共交通ですが、自治体や事業者の努力だけでは路線の維持が難しいため、国土交通省が実施する地域公共交通確保維持事業を活用しています。地域の実情に応じた生活交通の確保維持のため、地域間交通ネットワークを形成する幹線バスや地域内フィーダー交通の運行を支援するものです。同事業の補助系統について以下のとおり位置付けます。

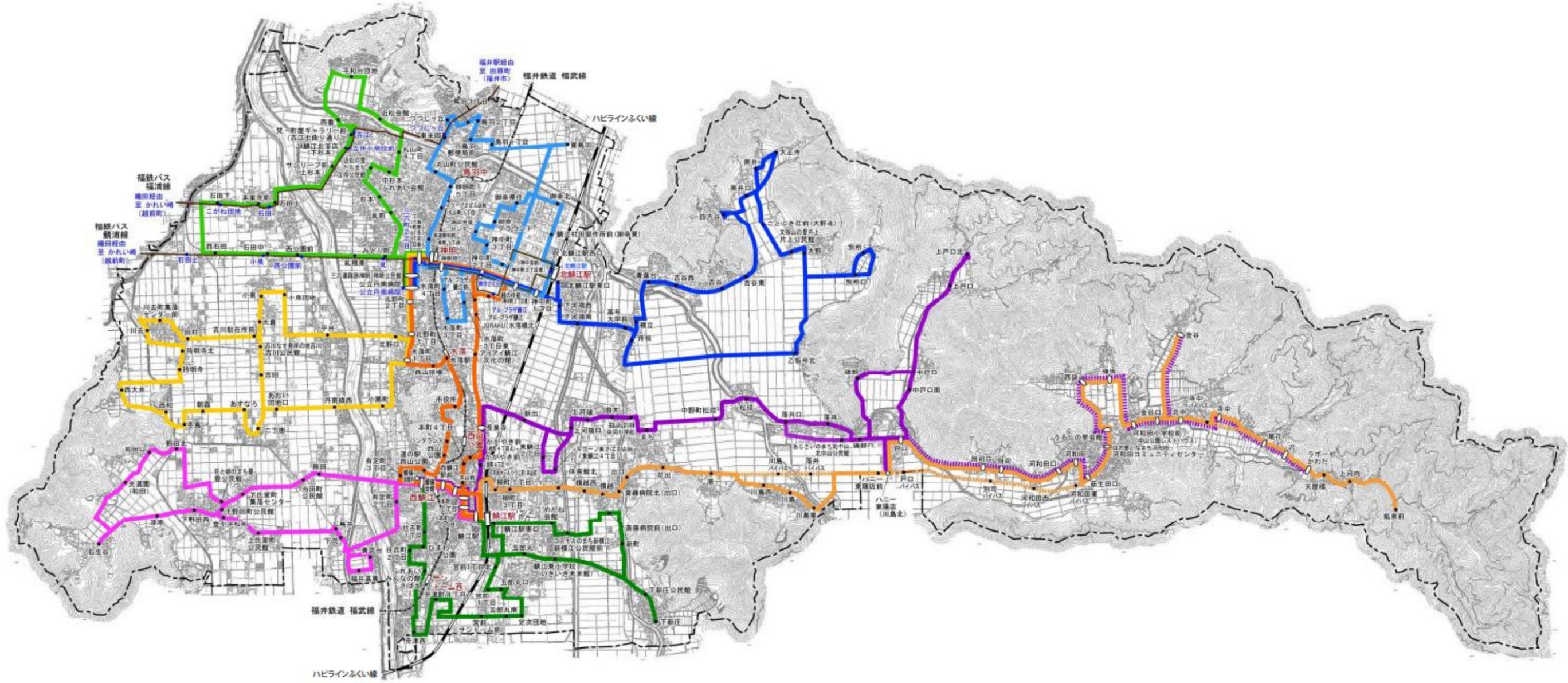
2. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統（補助系統）の地域の公共交通における位置付け・役割

鯖江市では、ハピラインふくい線、福井鉄道福武線を広域幹線系統、福鉄バス鯖浦線を地域内幹線系統、つつじバス循環線、神明線、片上・中河線、吉川線をフィーダー系統と位置づけ、公共交通ネットワークを構成しています。各系統の役割とサービス確保の考え方について、以下のとおり整理します。

公共交通の位置付け・役割について

位置付け	路線名	系統	役割	確保・維持策	
広域幹線	ハピラインふくい	鉄道路線	市中心部から市街への広域交通を担う。	交通事業者と協議の上、一定以上の運行水準を確保。	
	福井鉄道福武線	鉄道路線			
地域内幹線	福鉄バス鯖浦線	乗合バス	北鯖江駅を発着地として、神明駅や公立丹南病院などの市内主要施設、並びに隣接市町の各拠点を連絡する。		
支線	つつじバス循環線	乗合バス 橙色系統	広域幹線や地域内幹線と接続し、市内中心部を運行する。		地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）を活用し運行水準を維持。
	つつじバス神明線	乗合バス 水色系統	地域内幹線と北鯖江駅、神明駅、公立丹南病院等で接続し市内各地域を運行する。		
	つつじバス片上・中河線	乗合バス 青色系統			
	つつじバス吉川線	乗合バス 黄色系統			

公共交通ネットワークの全体像



<鉄道>

- ハビラインふくい線
- 福井鉄道福武線

<路線バス 福井鉄道>

- 福浦線
- 鯖浦線 地域内幹線

<コミュニティバス つつじバス>

- 循環線 橙色系統フィーダー補助対象
- 鯖江南・新横江線
- 神明線 水色系統フィーダー補助対象
- 片上・中河線 青色系統フィーダー補助対象
- 立待線

- 吉川線 黄色系統フィーダー補助対象
- 豊線
- 北中山・中河線
- 河和田線

- つつじバス バス停(単路線)
- つつじバス バス停(複数路線)
- 福鉄バス バス停
- 行政区域

3. 地域公共交通確保維持事業の必要性

鯖江市は隣接する福井市、越前市、越前町へ通じるハピラインふくい線、福井鉄道福武線、福鉄バス鯖浦線を幹線系統として、ハピラインふくい鯖江駅や北鯖江駅、福井鉄道福武線神明駅でこれらに結節するコミュニティバス「つつじバス」を運行しています。特に免許返納後の高齢者や車の運転ができない学生等が生活に必要不可欠な交通機関として活用しており、通勤・通学、通院、買い物、飲食など日常生活を支えるだけでなく、幹線系統への接続により市内外広域に移動を可能にする、大変重要な路線となっています。

一方で、つつじバスは自治体や事業者の努力だけでは維持が難しく、地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）により運行を維持する必要があります。

4. 補助系統に係る事業および実施主体の概要

系統名	主な起点	経由地	主な終点	事業区分	運行形態	実施主体	補助事業
鯖浦線 幹線系統	北鯖江駅	神明駅	かれい崎 (越前町)	4条乗合	路線定期	交通事業者	なし
循環線 橙色系統	鯖江駅	神明駅	鯖江駅	4条乗合	路線定期	鯖江市 (運行は交通事業者 に委託)	フィーダー 補助
神明線 水色系統	公立丹南病院	北鯖江駅	神明駅				
片上・中河線 青色系統	神明駅	北鯖江駅	公立丹南病院				
吉川線 黄色系統	神明苑	神明駅	神明苑				

5. 地域公共交通計画全体の定量的な目標・効果とその評価手法

目標	数値指標	データ取得方法	現況値	目標値
＜目標 1＞ 多様な移動ニーズに対応する公共交通の実現	つつじバス年間利用者数	・運行便別に利用者数（乗降バス停、利用券種別）を調査	14.4 万人 （平成 30 年度）	17 万人 （令和 8 年度）
	福井鉄道福武線市内駅利用者数	・各交通事業者が対象となる公共交通の利用者数を報告	47.4 万人 （平成 30 年度）	50 万人 （令和 8 年度）
	利用者一人当たり公的資金投入額	・つつじバス運行経費を年間利用者数で除した値	552 円/人 （平成 30 年度）	540 円/人 （令和 8 年度）
＜目標 2＞ まちづくりと連携し、暮らしやすさを高める公共交通の実現	公共交通が充実していると感じている人の割合	・アンケート調査で把握	58.7% （令和元年度）	80% （令和 8 年度）
	公共交通集落カバー率（鉄道、路線バス、コミュニティバス）	・集落カバー状況を整理	95% （令和 3 年度）	97% （令和 8 年度）
＜目標 3＞ 観光・ビジネスで訪れた人にもやさしく、鯖江の魅力を高める公共交通の実現	つつじバスポータルサイト（バスどこサービス）アクセス数	・アクセス状況を整理	15.7 万回 （平成 30 年度）	16 万回 （令和 8 年度）
＜目標 4＞ 市民との協働により、使いやすさを高め、にぎわいを支える公共交通の実現	公共交通利用促進のための市民団体の活動回数	・市民団体の活動回数を整理	12 回 （平成 30 年度）	15 回 （令和 8 年度）